

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	e-ビジネス	科目名	e-ビジネスマネジメント	科目コード	T1981B1
配当期	後期	授業実施形態	通常	単位数	4単位
担当教員名	廣本亜矢子	履修グループ	4A(SI/SN)4B(SP)	授業方法	講義
実務経験の内容	2007年に株式会社ワイドブック設立。役員として会社の経営に携わるとともに、人材育成コンサルタント(現職)として若い世代の人材育成、企業内人材育成に携わっています。主な活動内容として、ICT活用関連の検定試験ブランディングコンサルティングの実施、自治体や企業における基本行動分析・改善プロジェクトの実施、企業や文科省関連事業のe-learning化における学習用コンテンツ制作(画面、テンプレートデザイン、イラスト等作成を含む)、映像編集等の実務、及び一連のプロジェクト運営など手広く取り組んでいます。				
学習一般目標	経営とICT、ビジネスとICT、今ICT技術は個別の技術ではなく、経営・ビジネスそのものを構成する重要な要素です。本授業では、ICTを活用したビジネスモデルとマーケティングの概念を理解し、多様な視点からビジネスマネジメントを理解することを目標とします。				
授業の概要および学習上の助言	本講義では、ビジネス環境の分析、具体的なビジネスモデル事例の分析、マーケティング戦略の策定、マネジメントのロールプレイ等を行います。授業の展開は、講義・グループワークによる演習・フィードバックの形をとります。受講生は、主体性を発揮し知識の習得にとどまらず、自分たち自身で演習を行うことにより一連のマネジメントノウハウを習得します。また、開発するシステム等のビジネス上の役割や、システムを導入する企業経営者視点、発注者、使用者の視点等を理解することにより、お客様の視点に立ってどのようなものを開発し、どのような提案をしていくことが望ましいのかを自ら考えることができる力を身に付けることを目指しています。				
教科書および参考書	教科書:「e-ビジネスマネジメント」(株)ワイドブック発行				
履修に必要な予備知識や技能	積極的に参加できること。e-ビジネスデザイン技術、問題解決と企画提案の内容を理解していることが望ましい。				
使用機器	プロジェクターとスクリーンを使用します。				
使用ソフト	PPT				
学習到達目標	学部DP (番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1	マネジメントとは何かを理解できる。			
	1	ICTを活用したビジネスモデルとマーケティングの概念を理解できる。			
	2	様々なビジネスモデルをもとに、多様な視点からマネジメントに必要な要素を見つけ出せる。			
	3	各回の演習を進める中で各自がリーダーシップを発揮し、主体的に取り組むことができる。			
2・4	各回の演習を進める中で主体的にマネジメントノウハウを活用できる。				

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合			70		30				100
	学 部 D P	1. 知識・理解		10						10
		2. 思考・判断		40		10				50
		3. 態度		20						20
		4. 技能・表現				20				20
5. 関心・意欲										
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験	試験は実施しません。								
	クイズ 小テスト	授業内の提出物等により評価します。グループ演習での報告等も評価に含みます。								
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)	グループ演習の成果物について、発表を行います。								
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	出席率が著しく低い場合は、不可となる場合があります。								

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題 (予習・復習)
第1週 9/24(木)	<b>オリエンテーション</b> ・シラバス説明 ・演習、発表に向けて <b>マネジメントとは</b> ○到達目標 ・マネジメントとは何かを理解する ○授業内容 ・マネジメントの基本を文献等から探る ・自身の開発等の活動をマネジメントに着目して振り返り、課題抽出を行う	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第2週 10/1(木)	<b>ビジネスモデルとマネジメント</b> ○到達目標 ・様々なビジネスについてマネジメントする側からの目線で理解する ○授業内容 ・企業が行う事業の仕組みを知ることにより、マネジメントする側の視点からビジネスを見る	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第3週 10/8(木)	<b>ビジネスモデル事例</b> ○到達目標 ・様々なビジネスモデルについて理解する ○授業内容 ・実際の事例を通して、企業が行う事業の仕組みを知ることにより、マネジメントする側の視点からビジネスを見る ・技術者としてどのような提案ができるのか、可能性を探る	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第4週 10/15(木)	<b>USP</b> ○到達目標 ・USP とは何かを理解する ○授業内容 ・USP の事例を紹介、新たな視点、独自の視点で見る	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第5週 10/22(木)	<b>マーケティング①</b> ○到達目標 ・マーケティングについて理解する ○授業内容 ・マーケティングの基本を学習する ・開発事例をマーケティング上の分析手法に当てはめて検討する	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第6週 10/29(木)	<b>マーケティング②</b> ○到達目標 ・マーケティングについて理解する ○授業内容 ・マーケティングの基本を学習する ・開発事例をマーケティング上の分析手法に当てはめて検討する	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第7週 11/5(木)	<b>お客様満足度</b> ○到達目標 ・お客様満足度について理解する ○授業内容 ・実際の調査アンケートを読み解く ・お客様満足度アンケート作成	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示

第8週 11/12(木)	<b>イノベーションとマネジメント</b> ○到達目標 ・イノベーションについて理解する ・オープンイノベーションについて理解する ○授業内容 ・新しい発想を生み出すワーク ・事例をもとに可能性を考える	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第9週 11/19(木)	<b>デザインマネジメント</b> ○到達目標 ・デザインマネジメントの考え方を理解する ○授業内容 ・事例をもとに理解を進める ・自身の活動をデザインマネジメントの視点で見る	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第10週 11/26(木)	<b>マネジメントスキル</b> ○到達目標 ・マネジメントに必要なスキルについて理解する ・人のマネジメントについて理解し、チームのマネジメントを行える ○授業内容 ・チームをどのようにマネジメントすればよいか ・グループワークでチームでのマネジメントを確認する	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第11週 12/13(木)	<b>プロジェクトマネジメント① (PMBOK)</b> ○到達目標 ・プロジェクトマネジメントの基本となる PMBOK について概要を理解する ○授業内容 ・プロジェクトマネジメントとは ・もし、プロジェクトマネジメントに失敗したら？ ・PMBOK の概要	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第12週 12/10(木)	<b>プロジェクトマネジメント② (WBS)</b> ○到達目標 ・WBS について理解し、作成できる ○授業内容 ・WBS の作成方法 ・身近なプロジェクトを設定し、WBS 作成	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第13週 12/17(木)	<b>プロジェクトマネジメント③ (WBS)</b> ○到達目標 ・作成した WBS の検証 ○授業内容 ・作成した WBS に基づいて実施することで、検証確認し、振り返りを行う	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第14週 1/14(木)	<b>Web ユーザビリティ</b> ○到達目標 ・ユーザビリティについて理解する ・ユーザビリティについて、問題解決を実施できる ○授業内容 ・身近な事例を取り上げ、ユーザビリティ上の問題点を抽出し、解決案を提示する	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示
第15週 1/21(木)	<b>講義のまとめ</b>	講義と演習 演習後の発表あり	授業内で提示